

日本へ留学して

ホアン ティ ニュン

皆さん、こんにちは。今、日本の留学生の生活について、たくさん質問があるではないでしょうか。以下書いていることは皆さんに役に立つと思う。

日本へ来る前に、私も色々質問があった。日本の生活がどうだろうか色々想像したよ。3ヵ月ぐらい経って、日本の生活はベトナムの生活よりもっと良いと感じる。認定NPO法人外国人看護師介護福祉教育支援組織代表青野淳子先生のNPOプログラムに参加してから、私はタイビン医療短期大学と青野淳子先生と社会福祉法人杉和会から色々な支援をしていただいた。先生方の激励と自分の努力により、やっと日本へ来た。日本の空港に着いた時、杉和会の窪田先生が迎え、アパートへ連れて行って下さった。アパートはとても静かだし、きれいだし、広い。アパートには、新しい生活がすぐに始められるように、杉和会が必要な物をすべて用意してくれていた。嬉しくて、両親を初め、青野淳子先生、社会福祉法人杉和会の皆様、特に窪田先生に感謝した。誰よりもラッキーだと感じた。必要な書類は窪田先生が市役所に連れて行き、作成を手伝ってくださった。その時、先生がいなければ、どうすれば良いか分からなかっただろう。

私は一つの部屋に一人で暮らしている。アパートから駅まで自転車で15分くらいかかって、スーパーと駅へ行ける。施設からもらった自転車は速度にも調整できる、素晴らしい。毎月、生活費はだいたい60000円から65000円まで。(家賃、電気代、ガス代、電話代、水道代、電車の切符、食事代など)。施設でバイトで稼ぐお金と大学がくれる留学生のための奨学金で生活費は十分である。だから、ベトナムの両親が私に生活費を送る必要は全くないと思う。心配しない方が良いと思う。安心して留学してください。

毎日、自転車で15分大垣駅に行き、電車で15分岐阜駅まで行く。岐阜駅には中部学院大学短期大学部の無料のスクールバスが迎えに来る。45分ぐらいで学校へ行ける、その間に自習できるよ、バスの中は広くて、きれいで、静かだ。最初、電車やバスの乗り方も窪田先生に詳しく教えていただいた。初めて、電車に乗った時は、迷うのではないかと心配した3、4回乗ったら、だんだん慣れて、ちゃんと乗ることができた。ビザの発行が遅れたためにクラスメートより少し遅く入学したので、補講を受けながら、皆と一緒に勉強して、ちょっと大変だった。最初の週は教室番号も分からなくて、いつも迷って、先生と友達に聞いた。別の世界へ落ちたような感じがした。最初の授業では、先生は早口で色々話すので、ほとんど追いつけず、ややこしくて、頭が痛くなってしまった。大学を辞めようかと考えたことがあった。しかし、先生方は優しく、熱心で、少しずつ教えてくださったので、分かるようになった。何か分からなかったり、困ったりしたら、何でも先生に聞くことができる。この学校に学生として勉強できて、大変幸運だと思う。

一週間に月水金の夜と日曜日は施設で介護のアルバイトをしている。施設の皆、明るくて親切だ。私達は仕事を教えてくださる。やさしいことから難しいことまで全部だ。良かった。もうすぐ3ヵ月になるが、この仕事は自分に合う感じがして、いつの間にかこの仕事が好きになってしまった。毎日、利用者を介助して、自分の祖父母みたいを感じる。日本へ来てから、自分がとても成長していると思う。日本語の能力はだんだん良くなって、特に聞き取りの能力が良くなったと思う。

このコースを選んで、正しかったと思う。目標を達成するために、大変でももっと頑張りたいと思う。日本へ来るつもりの方々はもっと努力して、自分に合う道を選んで欲しいと、心から思う。ベトナムにいるうちに、時間を徹底的に使って、日本語を勉強してください。日本へ留学し、働く時に一番大事なものは日本語の能力だと思う。皆さん、頑張れ！

今、日本は夏だよ。ベトナムと同じだね。ベトナムの夏は日本よりもっと蒸し暑いと思う。日本の夏は昼間はベトナムと同じ、暑いけど、夜になると、風が吹いて、涼しくて気持ちが良いと思う。よく寝られるよ。皆は早く日本へ来て、自分で体験して、実感してください。私達はここで待っているよ。

(2019年8月23日)